

定例記者会見

日時 令和6年1月5日(金)
午後2時から
場所 市役所3階 大会議室

発表項目

1 新年の抱負について

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられましたことと、心からお喜び申し上げます。本年も、よろしく願いいたします。

まず、1日に発生した令和6年能登半島地震により、被災された方が大勢いらっしゃる、また、生き埋めになっていらっしゃる方もおられるということで、一刻も早い救出、復旧、復興に向けた動きを遅滞なく行っていただきたいと思います。

本市では、災害連携協定を締結している自治体があり、七尾市、高岡市のほかいくつかありますが、その中で、七尾市は相当被害を受けていて、なかなか要請にまで至っていないわけですが、高岡市については、水と食料が必要ということで、先月、協定を締結した西濃運輸の協力を得て、水と食料を運搬しました。

その後、再度、要請があり、ブルーシート、土嚢等を追加でお送りしたところです。経過については資料に記載してあります。

協定締結市とは、万葉の故地サミットや国府サミットなど、いろいろな繋がりのある、もともと越の国の仲間でもあったところですし、しっかりと支援をしていきたいと思っています。

県は、珠洲市を中心に支援をするということで、本市の職員も派遣して、引続き、しっかりと応援し、一刻も早い復旧・復興を願っています。

本市では、幸い、被害はありませんでしたが、決して他人事ではない、派遣した職員もしっかり現場を学んで、いつ何時来るかしのれない災害に備えるよう指示をしたところです。

それでは、昨年のごことについて話をしたいと思います。総合計画が動き出しまして、それぞれプロジェクトが進んでいます。特に、大河ドラマの関係で、紫式部プロジェクトということで、様々な取組み、特に、国府発掘プロジェクトについては、当時の区画跡らしきものが出てきたということですし、関連して、「文化県都セレモニー」を開催するなど、着々と動きが出てきていると思っています。

そして、北陸新幹線も「かがやき」が停車することが決定しましたし、新幹線駅前の(株)福井村田製作所の研究開発センターの立地がかなったというのも大きな出来事であったと思います。

そして、12月には、越前鳥の子紙のユネスコ無形文化遺産の拡張提案候補に選ばれたといううれしいニュースが入ってきました。ちょうど、10年前にこの越前和紙が漏れたというか、そもそも土俵にも拳がっていなかったということで、結果を聞いて何でなんだという話で、そこから、保存の組織をつくって、仕組みをつくり、しっかりやってきた結果、10年後によくここ

まで来たということだと思っています。

こうした昨年の成果を踏まえ、本年は、いよいよ、新幹線が来る、そして、大河ドラマも7日からスタートするが、本市が元気を出す、活気を出す、大きなチャンスを迎えるということで準備を進めていきたいと思っています。

また、新幹線開業当日には、一日駅長で俳優さんをお願いしていますが、そういう方を招いていろいろ記念イベントを行ってまいりたいと思っています。

そして、越前たけふ駅を降りた方がどうやって移動するかといったことで、丹南広域定額タクシーやシャトルバスの運行、さらにはレンタカーも50台準備しています。新幹線駅の出口からレンタカーに乗るまで、おそらく、1分以内で、こういった場所はないと思います。無料駐車場もあるということで、鉄路と道路の結節点、中京とも冠山峠の開通で行きやすくなったということで、中京との繋がりの有利な場所に、新幹線の駅があり、インターもありますので、しっかりやっていきたいと思っています。

秋には、北陸デスティネーションキャンペーンが10月から12月にかけて開催されることから、いよいよ全国から多くの方が来ていただけると思っています。

紫式部放映が始まって、そこでも越前和紙がとりあげられるのではないかと話でありまして、そういった働きかけを積極的に行っていますので、とりあげられるのではないかと考えています。

大河ドラマ館が2月23日にオープンするわけですが、それだけではなく、紫式部公園、紫ゆかりの館、国府の発掘現場、さらには越前和紙の里、武生公会堂記念館の企画など、そういったものを全体として紫式部関連のミュージアム、市内全域をミュージアムといった考え方で、来ていただいた人が、まち全体を楽しんでいただけるように、そして、越前市の歴史・文化に触れていただく、そういうふうな企画をしていきたいと思っています。

そして、紫式部プロジェクトに関連して、Vチューバー誕生に向けた取組みについては、1月8日からいよいよ活動を始めます。今日は、この事業をお願いしているアクティブ8の大坂社長がお見えになっていますので、後ほどご説明いただきます。このVチューバーの力もお借りして、式部関連、或いは越前市の歴史や文化、食や自然などを発信していくきっかけにしていきたいと考えています。

ユネスコに関しましては、研修施設を造らないといけないということで、新年度に向けて、鳥の子紙施設の整備を予定しているところです。これは、新年度予算で対応していきたいと思っています。

新年度の秋になりますが、第5回全国万葉故地サミットが本市で行われる予定です。全国の万葉にゆかりのある自治体が集まり、万葉故地として歴史文化遺産の継承や、万葉をテーマにした魅力発信、相互交流を行うことを目的として結成されました。

本市での開催についてですが、11月16日、17日の2日間で、今立地区を中心に開催をし、万葉の里などのエクスカージョンを予定しているところです。

その他、新年度については、にじいろこども園が開園する予定でありますし、そこには、市内全園の保育の質を高めるため、「市乳幼児教育・保育支援センター」を設置します。

ウェルビーイング、幸せの実感、住み続けたい、あるいは帰ってきたいと思う、そういうふるさとづくりにいよいよ向かっていくタイミングで、このチャンスを活かすのはチャレンジしかない、いろいろなことにチャレンジをし、越前市の新しい時代をつくっていくために職員、そして市民の皆様と一緒に精一杯、全力投球していきたいと思っています。

2 「越前市発のオリジナルVチューバー」について

・Activ8 株式会社 大坂社長、吉田氏から説明

・山田市長

今回のVチューバーですが、最初、聞いた時は何か分からなかったわけですが、紫式部プロジェクト、新幹線と大きなチャンスをどれだけ活かせるか、効果を発揮できるか、長続きするかという極めて大事なところを迎え、そこで、若い人たちの声を形にしてチャレンジするという事です。

今、最も難しいところは、情報を発信することではなくて、情報が届くかどうかということが極めて重要だと思っています。今、見ていただいたように、フォロワーもたくさんいる、これによって、多くの若い人たちに情報を届けることが出来れば、越前市の認知度も向上するし、来ていただける、或いは、住んでいただけるのではないかという挑戦であります。

そして、民間企業と手を携えて事業を行っていく、これも非常に意義のあるものだと思います。アクティブ8さんにとっても公務部門と一緒にやっていく、一つのモデルケースになるのではと思っています。

その他

1 令和5年度オーガニックビレッジ全国集会について

川崎環境農林部長から説明